

主の洗礼

2016. 1. 10

ルカ 3・15-16, 21-22

ジョン神父（クラレチアン宣教会）

わたしは日本に来てとても好きになったものがあります。それは何だと思えますか？

日本に来て、初めて温泉に行く機会がありました。温泉に入る前に、服を全部脱いで裸になることが本当に恥ずかしかった。どうして皆全部服を脱ぐ必要があるのか理解するまでに長い時間かかりました。でも、これはわたしにとっては珍しいことですが、すばらしい日本の文化の一つだと思いました。今はとにかく温泉が大好きで、温泉マニアになりました。

わたしは日本人を見ていて、日本人が非常に健康に気を使い、町の道にはほとんどゴミがなく全ての場所がきれいで、多くの商品を消毒し清潔に保つことに焦点を当てている才能があると思います。特に、日本人は、非常に清潔な水だけでなく、体に良い飲み物を多く飲んでいくことに気付かされます。

水はわたしたちの生活日常生活に必要不可欠ものです。人は何も食わずに3日は生きていけると聞いたことがあるので3日というのはそれほど重要ではありませんが、水なしでは3日で死んでしまうと聞いたことがあります。また、この世のことだけではなく、水は宗教にとって非常に重要なものです。

実際、多くの宗教は清浄、洗うことの儀式を持っているか、またはその儀式を取ることがあると思います：聖なるガンジス川の中で身を清めるヒンズー教徒。ユダヤ教の信者は洗礼槽（せんれいそう）の中に入って清められました。イスラム教徒たちは清めの身支度を強調し、三位一体の主なる神のもとのキリスト教徒の洗礼。

これらは、身体と心を新たにする象徴に関連しています。誰でも忙しい一日を終えた後、また汗をかいた後にお風呂に入ったり、温泉に行き入ったりして汗を流すとさわやかな気持ちになり、快適な時間を過ごす機会を得るという体験があると思います。

福音で読まれた箇所その日のヨルダン川は賑やかだったと思います。イエスも進んで群衆の中の皆と同じように、悔い改めの洗礼をヨハネから受けられました。でも、イエスは洗礼、悔い改める必要がありましたか？ イエスはあらためることが必要ではありませんでした。

イエスは、初めて神様の言葉を述べる時、群衆の皆と一緒に歩いていました。このイエスがわたしたちにこのように近づいた目的は、わたしたちに福音を知らせ、静かで快適な生活を離れてイエスの示した新しい道を選択して歩むことを意味しています。わたしたちのために、イエスはわたしたちと一つになりました。彼はわたしの重荷と罪 — わたしたちの罪の重荷を運ぶために、喜んでいます。彼はわたしたち自身の個人的なすべての重荷をヨルダン川に入れて、川で洗い流しましょうと教えています。イエスは善人だけでなく、罪人を軽蔑をしなかった。イエスは後でこう言っています。「わたしは世界を裁くために来ているのではなく、世界を救うために来た」。

しかし、洗礼は水に沈められます。全身が川から上がってきてきれいになりました。まるでお風呂や温泉からあがった時のように、わたしたちは罪からきれいにされてスッキリします。イエスはわたしたちと一緒に洗礼を受けるということは、わたしたちが罪と一緒に暗い生活と犯罪感を感じながら生きていくことを脱ぎ捨てられました。わたしたちの罪の重荷捨てる、水に沈められてすべての人が新しい生活を更新することができました。これが、洗礼の意味です。わたしたちは毎日自分自身を新しくすることができます。それは仕事の後に温泉に行くことでリラックスして、それでよい仕事を次もよくできるようなものです。ですから、今日の福音の中に二つの教えがあります。

1. イエスが罪人ではなく、罪人の中で積極的に歩き生きていくことができます、わたしたちは悔い改めの洗礼を罪の重荷を取り除くものとして受け入れますか？
2. 洗礼は、わたしたちを完全に新にされ、再び罪人として生きることはないようにされています。イエスキリストは常にあなたの洗礼を覚えています。継続的に生活の中で自分自身を新にしましたか？